

<特集補遺「モダリティ」>

## ラオ語のモダリティ Modality in Lao

飯石 彩野  
Ayano Iishi

東京外国語大学大学院総合国際学研究所  
Graduate School of Global Studies, Tokyo University of Foreign Studies

**要旨:** 本稿は特集「モダリティ」(『語学研究所論集』第16号, 2011, 東京外国語大学)に寄与する。本稿の目的は30個のアンケート項目に対するラオ語データを与えることである。

**Abstract:** This report contributes to the special cross-linguistic study on ‘modality’ (*Journal of the Institute of Language Research* 16, 2011, Tokyo University of Foreign Studies). The purpose of this paper is to offer the Lao data for the question of 30 phrases

**キーワード:** ラオ語、モダリティ、発話意図

**Keywords:** Lao language, Modality, Speech Intention

### 1. はじめに

ラオ語のモダリティについて、調査シートに従って以下に言語データを示す。調査はルアンスワンナウォン・アーモンラット氏(女性、1993年生まれ、ラオスの首都ビエンチャン出身)にご協力いただいた。氏は2017年より日本に在住し、現在(2019年12月)東京外国語大学大学院総合国際学研究所博士前期課程2年である。

言語データのラオ語文中の()は、()内の語彙があってもなくてもよいことを示す。日本語文に対応するラオ語語彙が複数ある場合は{.../.../...}とし、どの語彙を使ってもよい、ということを示す。

なお、ラオ語の音韻表記は鈴木(2003)に基づく。

### 2. 言語データ

1a. (その仕事が終わったら) もう帰ってもいいですよ。

(thàa	lêew	wiak	lêew)	{káp/múua}	lóəy	kɔʔ	dáy
HYP	PRF	work	PRF	back home	PTCL	LNK	PSBL

1b. バイトに行きたくないです。—(じゃあ、)行かなくてもいいよ

bɔɔ	yàak	pǎy	het	wiak	déʔ.	—káʔ	bɔɔ	pǎy	lɛʔ
NEG	want to	go	do	work	PTCL	LNK	NEG	go	PTCL

1bの方が1aよりも少し荒っぽい言い方になる。なお、近年1aの/kɔʔ/は発音が[káʔ]に変わってきており、1bはそれが反映されている。ただし、基本的に[káʔ]は話し言葉である。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

- 1c. もしわからなければ私に聞いてもいいですよ  
 thàa bɔɔ khàwcăy thǎam khòy kɔʔ dáy  
 HYP NEG understand ask 1SG LNK PSBL

聞き手から話し手に対する行動への許可も同様に/kɔʔ dáy/を使用する。

- 2a. (腐っているから、あなたは) それを食べてはいけない  
 (ʔānnân mán bùut lêew, câw) bɔɔ tôŋ kǐn (dâə)  
 that.TOPM it fetid PRF 2SG NEG have to eat PTCL

(それを)食べるな。

yaa kǐn  
 do not eat

2a の 1 文目は文末に/dâə/を使用した方がより丁寧な表現になる。

- 2b. 廊下を走るな  
 hàam leen yuu labǎŋ  
 do not run LOC corridor

/yaa/と/hàam/はどちらも禁止を表す語彙であるが、基本的に/yaa/は話し言葉であるのに対し、/hàam/は基本的に書き言葉として使用する。したがって、2b の文章は貼り紙や看板などで表記されているものになる。ただし、インフォーマントによると、人によっては/yaa/を書き言葉で使用することや、逆に/hàam/を話し言葉で使用することもあるとのことであった。

- 3a. (遅くなったので) 私たちはもう帰らなければならない。  
 (mán kham lêew) phúak-háw tôŋ káp lêew  
 it night PRF 1PL have to.MOD go home PRF

- 3b. 私はもう帰ります。  
 khòy siʔ káp lêew  
 1SG IRR go home PRF

3a は元の日本語文に対して忠実に訳した文章であるが、インフォーマントによるとしっくりこないとのことである。3b は実際に使用する場面を想定した場合には、このように能動的な表現を使うとインフォーマントが回答したものである。この後も何度かそのような回答があったため、ラオ語全体として能動的な表現を好む傾向があると言える。

- 4a. (雨が降るそうだから) 傘を持って出かけたほうがいいよ。  
 4a) (fôn khúuusiʔ tók) ʔǎw khánhom pǎy nám dǐi kuwaa  
 rain INFER fall bring umbrella go together good COMP

4a') ʔǎw khánhom pǎy nám {mɛʔ/bóʔ}  
bring umbrella go together PTCL

先程の設問と同じく 1)は元の日本語文に対して忠実に訳した文章であるが、この表現は不自然で自分に対して話しているような印象を受けるようだ。もし今から出かける人に対して、呼び掛けるならどのように言うのか尋ねたところ 1')の回答を得た。/mɛʔ/の場合は「傘を一緒に持っていきな」という意味になり、/bóʔ/は相手への提案であることを表現している。

4b. 先生のところに行った方がいいよ  
pǎy hà y ʔǎcǎan mɛʔ  
go CAUS teacher PTCL

推奨を表す文であるが、ラオ語を訳すと「先生のところに行きな」といった意味になり、「～した方がいいよ」という部分は訳出されない。

5a. 歳をとったら、子供の言うことを聞くべきだ／聞くものだ。  
cǎw thàw lêw, {khúan/tǔŋ} fǎŋ khuwáam lúuk  
2SG get old PRF have to.MOD listen word child/children

5b. 天気が良くなったら、仕事に行くべきだ。  
thàa fǔn sǎw tók lêw, {khúan/tǔŋ} ʔòok pǎy het  
HYP rain stop fall PRF have to.MOD depart go do  
wíak  
work

6a. お腹が空いたので、(私は)何か食べたい。  
hǐw khàw déʔ yàak kǐn ǎŋ cǎk yaan  
hungry PTDL want to eat something sort

「～ので」という表現に困った結果、「おなかがすいた。何か食べたい。」という2つの文に分けてインフォーマントは回答した。/cǎk yaan/は日本語文の「何か」に相当するが、日本語のように「何でもよい」というのではなく、「何か食べたいものがあるのだが、思い出せない」というときに使用する。そのため、この文は少し不自然で、実際に使うなら次のような文を使うとの回答があった。

6b. (食べるものが)何かありますか? 食べるものをください。  
mí ǎŋ bǔw, mí ǎŋ kǐn dɛɛ  
have something Q have something eat PTCL

7a. 私が持ちましょう。  
7a) hày khòy thǔuu hày bǔw  
CAUS 1SG take CAUS Q

7a')	khòy	si?	thũuu	hày
	1SG	IRR	take	CAUS
7a'')	khòy	si?	thũuu	suay
	1SG	IRR	take	help

7a)は/bɔ̃/を使用した疑問表現であるが、「持ちますか?」と尋ねているわけではなく、「持ちますよ」と持つ意志があった上での表現である。もし/bɔ̃/を使用しなかった場合には、乱暴な言い方になる。

目上の人に対して意志を示す場合には7a'')のように/suay/「助ける」を使用する。

7b. 私が書きましょう。

7b)	khòy	si?	khĩan	hày
	1SG	IRR	write	CAUS

7b')	hày	khòy	khĩan	hày	bɔ̃
	CAUS	1SG	write	CAUS	Q

7c. (得体のしれない食物を目の前にして)私が食べましょう。

khòy	si?	kĩn	(hày)	ɗɔɔk
1SG	IRR	eat	CAUS	PTCL

/hày/があると「私があなたのために食べましょう」という意味合いが強くなる。

8a. じゃあ、一緒に昼ご飯を食べましょう。

khánsân,	pãy	kĩn khàw	suwǎay	námkǎn	nɔ?
CONJ	go	eat lunch		together	PTCL

8b. 一緒に映画を見に行きましょう

pãy	bəŋ	nǎŋ	námkǎn	nɔ?
go	watch	movie	together	PTCL

8c. 一緒に勉強しましょう

8c)	hían	námkǎn	nɔ?
	study	together	PTCL

8c')	hían	námkǎn	bɔ̃
	study	together	Q

8c)のように8a, 8bと同様の勧誘表現でも問題はないが、この場合「勉強する」ことは基本的に「一人で行うこと」であり、「一緒にやっても楽しいことではない」ため、8c')の「一緒に勉強しませんか」という疑問形での表現の方がより適している。

9. 一緒に昼ご飯を食べませんか?

pãy	kĩn khàw	suwǎay	námkǎn	bɔ̃
go	eat lunch		together	Q

10. 明日、良い天気になるといいなあ。／明日は良い天気になってほしいなあ。
- 10) mûu?uuu, thàa ʔǎakàat dǐi khúuusi? dǐi nɔ?  
tomorrow HYP weather good INFER good PTCL
- 10') mûu?uuu thàa ʔǎakàat dǐi khúuusi? kháy dɛɛ  
tomorrow HYP weather good INFER convalescing PTCL
11. (私はここで待っているから) すぐにそれを持って来なさい。
- 11) (khòy cá? thàa yuu nǐi) hǐip pǎy ʔǎw ʔǎnnân máa hà y  
1SG IRR wait here go in a hurry bring that DIR CAUS  
dɛɛ  
PTCL
- 11') suay pǎy ʔǎw ʔǎnnân máa hà y dɛɛ dáy bǔɔ  
help go bring that DIR CAUS PTCL PSBL Q
- 11'') pǎy ʔǎw ʔǎnnân máa hà y dɛɛ dú? dǎawnǐi  
go bring that DIR CAUS PTCL now

11)と11')がより丁寧な言い方であり、11'')は少し雑な言い方である。

11'')内の/du?/という表現は妹や弟、友人など、気心が知れた相手に使う直接的な依頼の表現である。また上司が部下に対して使った場合には腹を立てながら言っている印象になる。

12. そのペンをちょっと貸していただけませんか？
- 12) khǔɔ yúuuum bík kâan nân dɛɛ  
please borrow pen CLF that.DEM PTCL
- 12') ʔǎw bík kâan nân máa yúuuum dú?  
take pen CLF that.DEM DIR borrow PTCL
- 12'') hà y khòy yúuuum bík kâan {nɛɛ/dɛɛ} dáy bǔɔ  
CAUS 1SG borrow pen CLF PTCL PSBL Q

12')は友達に対してお願いするときで「貸してくれる?」、12'')は初対面の人に対してお願いするなどかなり丁寧な言い方であり、訳すとしたら「貸していただいてもよろしいでしょうか。」という表現になる。

13. あの人は中国語が読めます。／あの人は中国語を読むことができます。
- 13) {khón/phùu} nân ʔaan pháasǎa cǐin {dáy/pɛn}  
person that.DEM read language China PSBL
- 13') {khón/phùu} nân sǎamâat ʔaan pháasǎa cǐin dáy  
person that.DEM ABLE read language China PSBL

13)は、文が短く単純で分かりやすいため、話し言葉としてよく使われる。13')は、13)よりも書き言葉的な表現である。

なお、13)の最後に出現する/dáy/は/pɛn/に置換することが可能である。一方、13')の/dáy/は/sǎamâat/と

共起しているため/pě̃n/に置換することはできない。

14a. 明かりが暗くて、ここに何が書いてあるのか、読めない。

14a) mán mútut lóey bɔɔ hũu waa khĩan n̄aŋ yuu nĩ  
 it dark PTCL NEG know COMP write something here  
 ʔaan bɔɔ d̄ay  
 read NEG PSBL

14a') mán mútut lóey ʔaan t̄oonaŋsũu thii khĩan yuu nĩ bɔɔ  
 it dark PTCL read letter REL write here NEG  
 d̄ay  
 PSBL

この例文の「明かりが暗くて」という部分のラオ語翻訳に対して、インフォーマントは自然なラオ語に訳せないと回答した。そのため、元の日本語文では「ここに何が書いてあるのか、読めない」という文章だが、ラオ語は「ここに書いてある文字が読めない」という訳に変わっている。

14b. (カナヅチなので)私は泳げません。

khòy lóynâm bɔɔ p̄ẽn  
 1SG swim NEG PSBL

14c. (川が氾濫している or 体調が悪いから)泳げません。

khòy lóynâm bɔɔ d̄ay  
 1SG swim NEG PSBL

14b は能力可能、14c は状況可能のように見える。/d̄ay/はさまざまな可能表現に使用できるのに対し、/p̄ẽn/は学習の結果、可能になった事象に対して使用ができる。そのため、13)で/d̄ay/を/p̄ẽn/に置換することが可能である。14a における/d̄ay/を/p̄ẽn/に変えた場合、「(暗いから)読めない」のではなく「(文字を知らないから)読めない」という意味に捉えられることとなる。

また 14b と 14c は否定文であるが肯定文にした場合には/p̄ẽn/を使用した方が適当であるとの回答があった。

なお、ラオ語の可能表現に使用する語彙について鈴木(2010)は/wǎy/も記述しているが調査をしなかったため解説は省略する。

15. (朝早く出発したから) 彼らはもう着いているはずだ／もう着いたに違いない。

15) (phɔʔwaa ʔòk d̄əntháaŋ tɛ s̄aw) phũak-khǎw {t̄oŋ/khúan}  
 because.CONJ depart travel from morning 3PL have to.MOD  
 h̄ot lêew  
 arrive PRF

15') phũak-khǎw {t̄oŋ/khúan} h̄ot lêew n̄eənóŋ  
 3PL have to.MOD arrive PRF surely.ADV

ここでは「～はずだ」「～に違いない」に相当するものが/t̄oŋ/と/khúan/の2語ある。それぞれの違

いをインフォーマントに尋ねたところ以下のように回答があった。

/tɔŋ/: 状況による判断。この文の場合「朝早くに出発したのだから自然とついているはずだ」という発想。

/khúan/: 話し手の想像による判断。この文の場合「もう着いたはずだ」という発想。

なお、確信度については違いがないようである。

16. (あの人は) 明日はたぶん来ないだろう。

{khón/phùu}	nân	múu?uuun	bǎaŋthua	{khúuusi?/ʔaatcá?}	bɔɔ
person	that.DEM	tomorrow	sometimes	INFER	NEG
máa					
come					

ここで「たぶん~だろう」に相当する/ʔaatcá?/と/khúuusi?/は 15 で述べた/tɔŋ/と/khúan/と異なり、2 語間での意味の相違はない。

17. 彼らはまだ来ないなんて、きっと途中で車が壊れたんじゃないか。

17)	thii	phúak-khǎw	ǰǰ	bɔɔ	thán	máa	ʔaatcá?	ǰɔɔnwaa
	LOC	3PL	still	NEG	in time	come	INFER	because.CONJ
	lot	khǔɔŋ	phúak-khǎw	phée	kɔɔ	pěn	dây	
	car	POSS	3PL	broken	LNK	COP	PSBL	

もし「君が盗んだんじゃないか」という例文にした場合はどうなるか尋ねたところ、疑念の相手であるならば直接聞く表現になるとのことである。

また「あの人が盗んだんじゃないか」という文章の場合は

17')	{khón/phùu}	nân	ʔaatcá?	lak ʔǎw	nii	kɔɔ	pěn	dây
	person	that.DEM	INFER	steal	this.DEM	LNK	COP	PSBL

となる。

18a. (昼間だからあの人は家に) さあ、いるかもしれないし、いないかもしれない。

(phɔ?waa	tɔɔn nii	mɛɛn	tɔɔn suwǎay	{khón/phùu}	nân	ʔaancá?	
because.CONJ	now	COP	daytime	person	that.DEM	INFER	
yuu	húan	lǔuu	ʔaatcá?	bɔɔ	yuu	húan	kɔɔ
exist	house	whether.CONJ	INFER	NEG	exist	house	LNK
pěn	dây						
COP	PSBL						

18b. 来るかもしれないし、来ないかもしれない

ʔaatcá?	máa	nii	lǔuu	ʔaatcá?	bɔɔ	máa	kɔɔ	pěn
INFER	come	here	whether.CONJ	INFER	NEG	come	LNK	COP
dây								
PSBL								

19. (額に触ってみて) どうもあなたは熱があるようだ。

câw {khúuusi?/?àatcá?} pěn khày  
2SG INFER COP fever

20. (天気予報によれば) 明日は雨が降るそうだ。

múuu?uuun fõn {khúuusi?/?àatcá?} tók  
tomorrow rain INFER fall

「明日は雨が降りそうだ」と、実際に空の様子を見て判断したとしても文は変わらない。

21. もしお金があったら、あの車を買うんだけどなあ。

thàa khòy míi ḡn, khòy ({cá?/si?}) súuu lot khán  
HYP 1SG have money 1SG IRR buy car CLF  
nĩ  
this.DEM

直訳としては「もしお金があれば、この車を買う。」となり、日本語の「～するんだけどなあ」という反実仮想表現は訳出されない。

22. もしあなたが教えてくれていなかったら、私はそこにたどり着けなかったでしょう。

thàa câw bõõ bõok khòy, khòy {khúuusi?/?àatcá?} máa bõõ  
HYP 2SG NEG tell 1SG 1SG INFER DIR NEG  
hõt  
arrive

ラオ語には過去表現がないため、時制が過去なのか現在なのかはこの文のみでは判断がつかない。そのため、「もしあなたが教えてくれなかったら、私はそこにたどり着けません。」と迷っている段階で聞いても同じ表現になる。

23. (あの人は) 街へ行きたがっている。

{khón/phùu} nân {khúuusi?/?àatcá?} yàak pǎy náy múaŋ  
person that.DEM INFER want to go in town

この文において/khúuusi?/?àatcá?/を外すと「あの人は街へ行きたい。」という意味になる。この2語はこれまでは「きっと～だろう」という意味で出現していたが、ここでは「～したがる」に相当する。

- 24a. 僕にもそれを少し飲ませろ。

24a) ?ännân kõõ ?ǎw hày khòy {duuum/kĩn} cáknòy dɛɛ  
that LNK take CAUS 1SG drink/eat a little PTCL



24a') koo      ?ǎw      ?ǎnnân      hày      khòy      {duuum/kĩn}      cáknòy      dɛɛ  
LNK      take      that      CAUS      1SG      drink/eat      a little      PTCL

この文の場合には、/?ǎnnân/は動詞/?ǎw/の後ろでも文頭でもどちらにも置ける。

24b. (乱暴な口調で)僕にもそれを少し飲ませろ。  
koo      ?ǎw      ?ǎnnân      hày      khòy      {duuum/kĩn}      cáknòy      {dú?/ dɛɛ dú?}  
LNK      take      that      CAUS      1SG      drink      a little      PTCL

乱暴な言い方というより偉そうな言い方である。命令の度合いが 24a よりも強くなる。

24c. 僕にもそれを少し飲ませてくださいますか。  
suay      ?ǎw      ?ǎnnân      hày      khòy      {duuum/kĩn}      cáknòy      dɛɛ      dáy  
help      take      that      CAUS      1SG      drink/eat      a little      PTCL      PSBL  
bǔɔ  
Q

丁寧な表現は疑問文にするという回答があった。

24d. 僕にも水を少し飲ませろ  
koo      ?ǎw      nâm      hày      khòy      {duuum/kĩn}      cáknòy      dɛɛ  
LNK      take      water      CAUS      1SG      drink/eat      a little      PTCL

目的語を明確なものにした場合(24d では/nâm/「水」)には 24a と異なり、文頭に置くことはできない。

25. これはあの人に持って行かせろ/持って行かせよう。  
25) ?ǎw      ?ǎnnîi      hày      {khón/phùu}      nân      thǔuu      pǎy      hày      dɛɛ  
take      this      CAUS      person      that.DEM      carry      go      CAUS      PTCL  
25') ?ǎw      ?ǎnnîi      hày      láaw      thǔuu      pǎy      hày      dǐi      bǔɔ  
take      this      CAUS      3SG      carry      go      CAUS      good      Q  
25'') ?ǎw      ?ǎnnîi      hày      {khón/phùu}      nân      thǔuu      pǎy      hày      (dɛɛ)  
take      this      CAUS      person      that.DEM      carry      go      CAUS      (PTCL)  
dú?  
PTCL

25')は疑問文であり、「彼にもっていかせた方がいいですよ」と共感を求めながら提案をしている。

25'')は/dú?/を使用しており、乱暴な言い方もしくは強い命令の表現である。

26. そのテーブルの上のお菓子は後で食べなさい。  
lāŋcàak nân      kǐn      khandǔm      thii      yuu      tháj      tó?      nân      dǔɔ  
CONJ.afterward      eat      sweets      REL      exist      upper      table      that.DEM      PTCL

27a. もっと早く来ればよかった。  
 thàa máa wáy kuwaa nîi khúusi? dĩi kuwaa  
 HYP come early COMP this.DEM INFER good COMP

27b. (昼時でお店が満席だったので)もっと早く来ればよかった。  
 thàa máa wáy kuwaa nîi khón khúusi? bəə lăay pǎannîi  
 HYP come early COMP this.DEM person INFER NEG many like this

27b を直訳すると「もっと早く来ればきっと人はこんなに多くなかっただろう」となる。

27c. (来たら閉店時間を過ぎていたので)もっと早く来ればよかった  
 thàa máa wáy kuwaa nîi hân khúusi? pəət yuu  
 HYP come early COMP this.DEM store INFER open PROG  
 {dòk/lé?}  
 PTCL

27c を直訳すると「もっと早く来ればお店は開いていただろう」となる。文末の/dòk/, /lé?/は残念な気持ちを表す文末詞である。

28. あなたも一緒に行ったら (どうですか) ?  
 28) cāw kəə pǎy námkǎn lé?  
 2SG LNK go together PTCL  
 28') cāw kəə pǎy námkǎn mɛ?  
 2SG LNK go together PTCL

28)と 28')はそれぞれ文末に/lé?/と/mɛ?/を使用しているが2語間の意味は以下のように異なる。  
 /lé?/: 自分の意志として誘う。相手の意志は特に気にせず誘っている。  
 /mɛ?/: 自分としては誘いたい、相手の意志を気にした上で誘っている。

29. オレがそんなこと知るか!  
 luəŋ nân khòy si? pǎy hūu (sambó?)!  
 matter that.DEM 1SG IRR DIR know PTCL

文末の/sambó?/は怒っているときや、かなり強く言いたい時に使用する語彙であるため、使用した場合にはより怒りや皮肉の意図が含まれる。

30a. これを作った (料理した) のは、お母さんだよな?  
 30a) ʔāhǎan nîi mɛən mɛɛ pěn khón tɛŋ dǎy nɔ?  
 meal this.DEM COP mother COP person make ACHV PTCL  
 30a') ʔāhǎan nîi mɛən mɛɛ pěn khón tɛŋ túa? nɔ?  
 meal this.DEM COP mother COP person make PTCL PTCL

30a'') ʔǎhǎan nǐ mɛɛn mɛɛ pɛ̃n khón tɛɛŋ túa?  
meal this.DEM COP mother COP person make PTCL

30b. —いいえ、私が作ったのよ。

30b) bɔɔ, khòy pɛ̃n khón tɛɛŋ  
NEG 1SG COP person make

30b'') bɔɔ, khòy ni? pɛ̃n khón tɛɛŋ  
NEG 1SG PTCL COP person make

30a)~30a'')の3つの文はすべて確信をもって聞いている表現であり、それほど大きな違いは存在しないが、強いて言うとなれば/túa?/を使用している文の方が確信度は低く、疑惑の念や確認の意図が含まれている。

30b)は普通の言い方であるのに対し、30b'')は/nɪ?/を使用することで、前の1人称単数/khòy/「私」を強調している。あえて訳出するとしたら「いいえ、(お母さんじゃなくて)この私が作ったのよ。」となる。

### 3. おわりに

以上が収集したラオ語のモダリティの言語データである。

#### 参考文献

鈴木玲子 (2003) 「ラオ語の「行く・来る」」『東南アジア大陸部諸言語の「行く・来る」』慶應義塾大学言語文化研究所

鈴木玲子 (2010) 『ニューエクスプレス ラオス語』白水社。

執筆者連絡先 : iishi.ayano.o0@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2019年12月25日